

水星が西方最大離角



天空が広がるうぶやまの高原は、暑い夏の季節を迎えましたが、高原の涼しい風が吹いています。はげしかった梅雨も明け、産山の夜空には素晴らしい星空が輝いています。

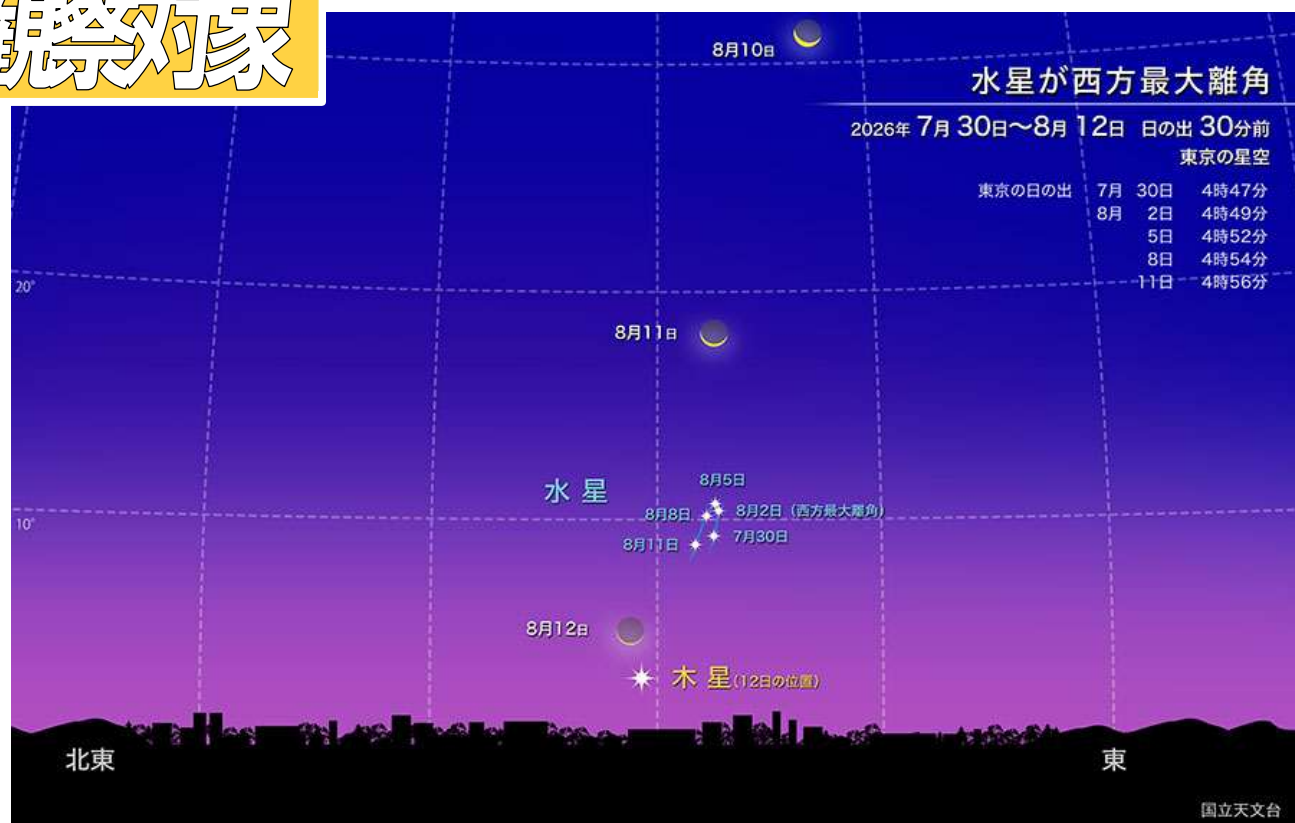
指針コラム (天体情報・見どころ)

8月の星空情報の第2弾は8月2日(日)の水星0.3等級が日の出前の早朝、東の低空で西方最大離角になるという天文現象です

水星は、太陽系の最も内側を公転している惑星です。このため、水星は見かけの位置が太陽から大きく離れることがなく、見つけやすくなる時期は太陽からの見かけの位置が離れる「最大離角」前後に限られています。

8月2日に水星は西方最大離角となり、この日前後には日の出前の東の低空で水星が見つけやすくなります。熊本では7月30日から8月12日までの間、日の出前30分の水星の高度が10度を超えます。水星を観測できるチャンスです。(次ページへ続く)

観測対象



今回の場合、水星よりも高い位置には赤みを帯びた特徴的な惑星である火星(1.3 等級)が見えます。また、近くには、ふたご座やオリオン座といった明るい星々も目印になるでしょう。とはいえ、白み始めた薄明の空の中では、星を探すのが難しくなります。そこで、双眼鏡を使うと見つけやすくなるでしょう。ただし、すぐ昇ってくる太陽を双眼鏡で見ることはないよう、日の出前には観察を終えるようにしてください。